

# くらしの中の上下水道

別冊

2018年4月発行 **100周年記念号** 保存版

北九州市上下水道局総務経営部総務課  
〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1-1  
☎093-582-3131

## CONTENTS

- P1 北九州市下水道100周年  
安全で快適な暮らしを支える下水道
- P2 水害から市民を守る
- P3 良好な水環境を守る  
北九州市下水道100年のあゆみ
- P4 北九州市下水道100周年記念事業について  
「下水道展'18北九州」を開催します! /  
北九州市のマンホールカード



北九州市下水道100周年

キャッチコピー 『つなげよう次の100年へ ~下水道がつくる豊かな水・まち・暮らし~』



## 北九州市下水道100周年



下水道が始まった大正初期の若松



汚染された洞海湾



昭和28年 浸水被害の状況

北九州市の下水道事業は、大正7年7月に旧若松市で事業に着手し、平成30年に節目となる100周年を迎えました。

本市発足当初の昭和38年の下水道普及率は約2%でしたが、トイレの水洗化などを望む市民の方々の強い要望により、高度経済成長期に整備を加速し、市内全域に区域を広げてきました。

普及率は、**昭和52年に50%、平成18年に99.8%**に到達し、衛生環境の改善や河川等の水質改善に大きな役割を果たしてきました。

特に、「死の海」と呼ばれた洞海湾や「どぶ川」と化していた紫川をはじめ、水辺が市民の憩いの場として利用されるなど、本市の水環境が飛躍的に改善し、良好な都市空間が形成されたことは、大きな成果です。

下水道は快適で安全・安心な市民生活を守る上でなくてはならない施設です。

100周年を通過点として、良好な水環境を次世代に引き継ぎ、また水害から市民を守る重要な役割を果たすことで、「住みよいまち・北九州」の更なる発展につなげていきます。



昭和38年皇后崎下水処理場運転開始  
北九州市で初の下水処理場



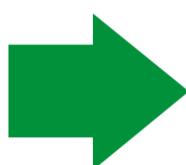
昭和57年頃  
下水道の整備状況

before



昭和50年代前半

下水道普及率の上昇に伴い  
水質が改善



after



平成27年

- 下水道普及率の上昇に伴い、水質が改善、紫川の河川改修にあわせ、川を中心とした一体的なまちづくりを推進し、九州の玄関にふさわしい都市の「顔」としての水辺空間を創出しました。
- 紫川周辺の整備が進んだことにより観光客数が増加するなど、地域の活性化につながっています。



# しを支える下水道

# 水害から市民を守る

1970年代から1980年代、北九州市では大雨による浸水被害が多く発生していました。そのため、雨水をすばやく取り除いて浸水被害を防ぐ下水道整備を行ってきました。



北九州市下水道100周年

## 大雨による浸水被害のようす



### 市街化前

雨が地下にしみこんでいました。

地下に浸透



### 市街化後

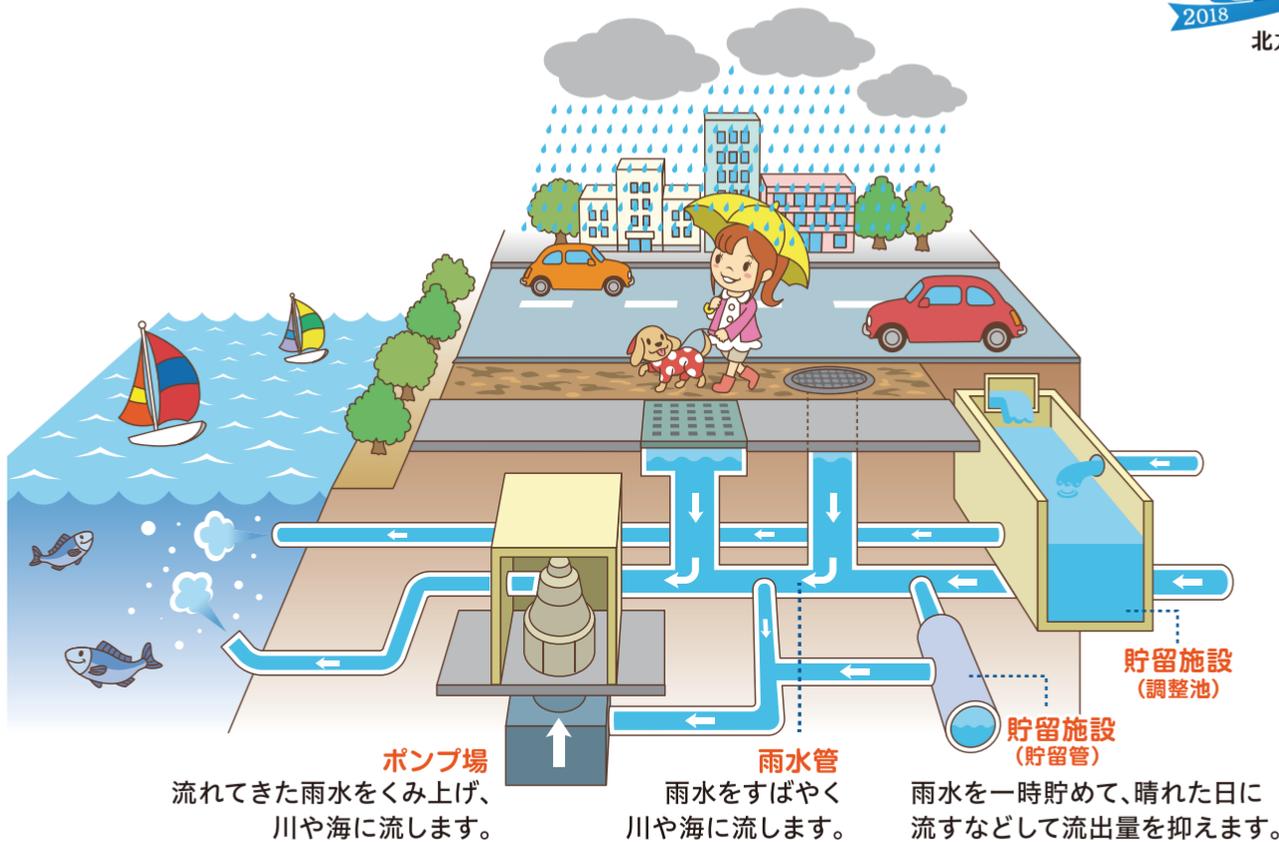
地面が土からアスファルトやコンクリートに変わり、雨がしみこまなくなり浸水が起きやすくなっています。

川があふれる



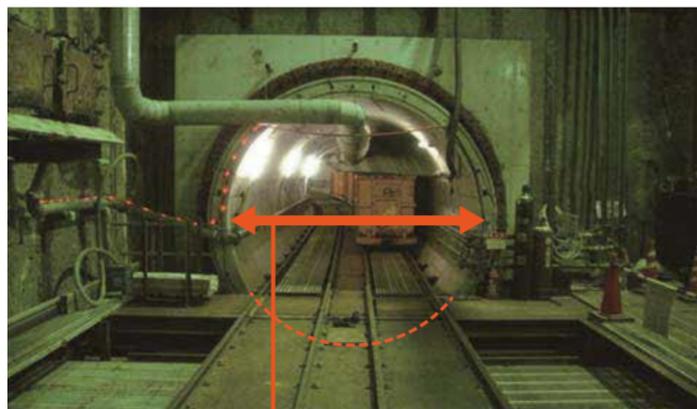
### 対策後

北九州市では、できるだけ浸水が起きないように、より大きな雨水管を整備したり、雨水貯留施設を整備しています。



## 雨水管について

雨水管を新しくつくり大きくして、集まってきた雨水をすぐに流すことで浸水を防ぎます。ポンプの力で水を流すこともあります。



地下につくられた雨水管

内径 3.25m

大きな管は直径5mになるものもあるよ!

## 雨水貯留施設について

雨が一気に流れていかないように、貯留施設に雨水を貯めることで、浸水を防ぎます。貯留施設には、池や大きなプールのようなものや大きな管などがあります。

### 調整池のようす



晴れるとき



雨るとき

### 公園の下につくった調整池



工事中



完成

下水道は、川や海をきれいにするだけでなく、水害から私たちの町を守る役割をしてくれているんだね。



# 100年のあゆみ

※下水道処理場は現在の浄化センター

年月	出来事
大正 7・7	旧若松市事業着手*全国で14番目
昭和 9・3	旧小倉市事業着手
昭和 14・8	旧八幡市事業着手
昭和 33・8	旧戸畑市事業着手
昭和 38・2	旧門司市事業着手
昭和 38・2	北九州市発足
昭和 45・4	皇后崎下水処理場運転開始(八幡西区)
昭和 47・4	日明下水処理場運転開始(小倉北区)
昭和 49・11	新町下水処理場運転開始(門司区)
昭和 52・3	北湊下水処理場運転開始(若松区)
昭和 54・10	下水管の総延長1000km達成
昭和 57・1	下水管普及率50%達成
昭和 61・4	下水管の総延長2000km達成
平成 1・6	下水管普及率80%達成
平成 3・3	下水管の総延長3000km達成
平成 6・9	下水管普及率90%達成
平成 7・4	紫川の環境改善が建設大臣賞(いきいき下水道賞)受賞
平成 9・5	下水処理場を浄化センターに名称変更
平成 10・3	下水汚泥の海洋投棄廃止
平成 10・7	下水処理場のセメント原料化事業開始
平成 10・10	曾根浄化センターに「吉田太陽の丘公園」完成(小倉南区)
平成 11・3	下水道展'98北九州開催 入場者数61800人
平成 12・9	神嶽ポンプ場雨水滞水池完成(小倉北区)
平成 17・3	「水、よみがえる北九州市下水道史」発行
平成 20・3	「蘇る水100選(よみがえる紫川)」建設大臣賞受賞
平成 21・1	下水道汚泥の海洋投棄廃止
平成 21・3	第10回国土交通大臣賞(いきいき下水道賞)受賞
平成 21・6	下水道普及率99.8%達成
平成 21・9	下水管の総延長4000km達成
平成 21・10	下水道事業(汚水整備)概成(人口普及率99.8%)
平成 21・11	戸畑ポンプ場運転開始・雨水滞水池完成(鳥旗、都島、弁天ボンプ場の統合)(戸畑区)
平成 21・12	初音川代町主要幹線(市内最大φ5000mm)完成(戸畑区)
平成 21・12	第1回国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)受賞



下水道展'98



下水道管総延長3000km達成



北湊下水処理場運転開始



昭和28年6月の大水害(黒崎)

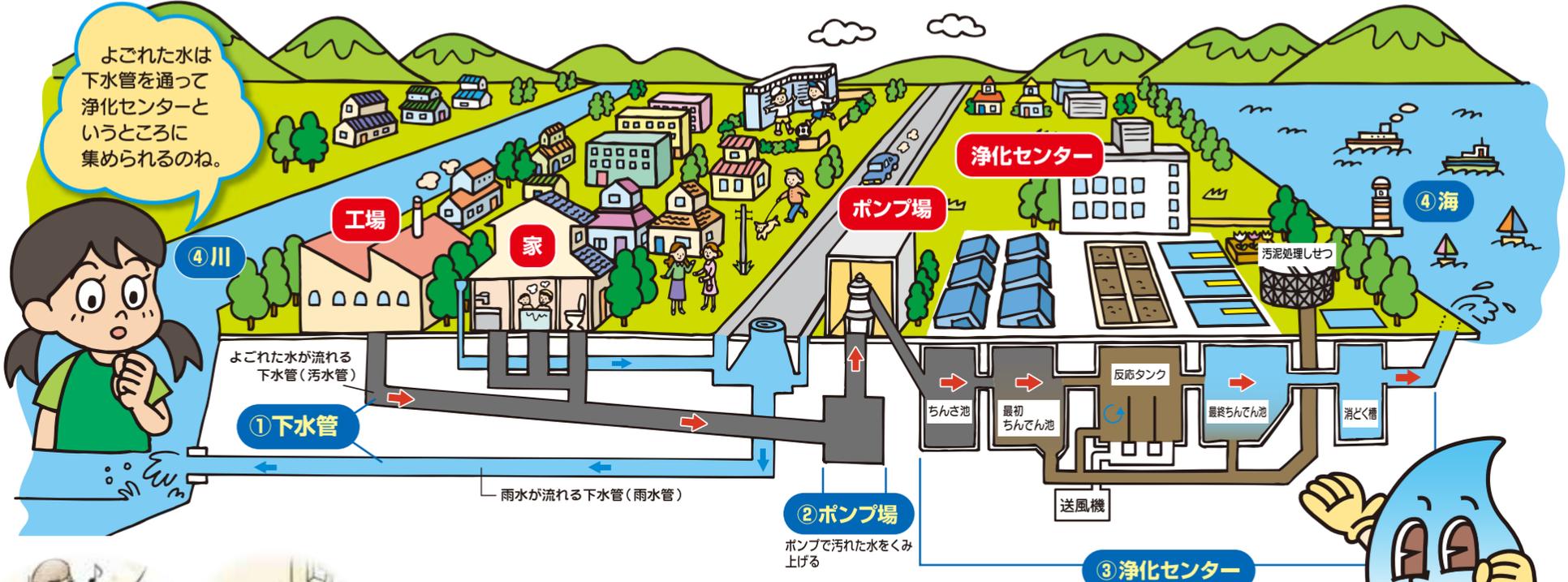


# 良好な水環境を守る

# 安全で快適なくら



## よごれた水は、下水管を通過してどこへ流れていくのでしょうか。



**① 下水管 (汚水管)**

よごれた水はまず、下水管(汚水管)に流れこみます。下水管は道路の下にうめられていて、よごれた水を、浄化センターまで運ぶ役目をしています。

### ② ポンプ場 (戸畑ポンプ場)



下水管の途中にポンプ場をつくって、よごれた水をくみ上げ、浄化センターへ流れるようにしています。

### ③ 浄化センター (日明浄化センター)



下水管やポンプ場を通過してきたよごれた水は、最後には浄化センターに運ばれます。

### ④ 川や海



浄化センターできれいにされた水は、川や海にもどされます。

## 北九州市下水道

30	29	28	10	9	7	5	4	27	26	26	26	25	24	23	12	11	8	7	22	7									
8	2	2	2	2	2	2	2	2	9	3	3	3	3	4	4	11	8	7	2	7									
☆下水道事業100周年	カンボジア国ポンペン都と下水道分野の技術協力に関する覚書締結	「ギラヴァンツ北九州」のデザインを使用した「下水道用デザインマンホール蓋」を設置(小倉北区)	マンホールトイレ運用開始	官営八幡製鐵所旧本事務所のデザインを使用した「下水道用デザインマンホール蓋」を設置(八幡東区)	国の下水道広域化検討のモデル地域に「北九州都市圏域」が選定	葛原川雨水幹線調整池完成(小倉南区)	<b>日明汚泥燃料化センター稼働開始</b>	マンホールトイレ運用開始	第8回国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞) グローバル部門受賞	カシオパニア国王ファンセン首相ビジターセンター視察	蛤川雨水幹線雨水調整池完成	<b>日明浄化センター新管理棟(ビジターセンター)完成</b>	小倉都心部浸水対策推進プランが国の「100mm/h安心プラン」に登録	陣山雨水調整池完成	湯川新町三丁目雨水調整池完成	鴨生田二丁目雨水調整池完成	葛原東三丁目雨水排水ポンプ完成	本町二丁目地内雨水排水ポンプ完成	中曽根二丁目雨水調整池完成	梅雨前線に伴う大雨により、市内各所に浸水被害が発生(時間最大降水量73.0mm)	水道局と建設局下水道分野を統合し「上下水道局」新設	新藤田ポンプ場運転開始・雨水滞水池完成(八幡西区)	中国大連市と下水道分野における交流に関する覚書を締結	<b>日明浄化センターに「ウォータープラザ北九州」を開設</b>	ハイフォン市下水道排水公社と技術交流に関する覚書を締結	「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を全国の自治体で初めて発足	梅雨前線に伴う大雨により、市内各所に浸水被害が発生(時間最大降水量73.5mm)	北九州市下水道ビジョン策定	九州北部豪雨により、市内各所に浸水被害発生(時間最大降水量79.5mm)





# 北九州市下水道100周年記念事業について

これまでの100年を振り返り、市民の下水道事業に対する理解と協力に感謝するとともに、下水道事業に協力していただいた皆様の「思い」や「技術」を引き継ぎ、次の100年につなげるために「北九州市下水道100周年記念事業」を実施しています。

記念事業を通じて、衛生環境や水環境の改善、浸水対策など下水道がこれまで果してきた役割や重要性について理解を深めてもらうため、市民参加型のイベント等を行い、広く下水道事業をPRします。

また、今年7月には、全国から多くの方が来場する「下水道展'18北九州」を開催し、北九州市の魅力在全国に発信します。

## I 下水道の歴史を振り返り、市民とともに祝う

- 北九州市下水道100周年記念式典 (H30.7.23 国際会議場)
- 記念デザインマンホールの設置 (H30.5月.7月)
- 下水道パネル展 (H30.8月 各区役所等)

## II 下水道の役割を伝える

- 下水道施設見学会 (H30.5月 予定)
- マンホールスタンプラリー (夏休み期間中)
- マンホールサミット (誘致 予定)
- 親子ふれあい教室 (H30.8月 予定)
- 紫川周辺の水辺体験イベント等でのPR (H30.7月~10月の予定)

## III 未来につなげる

- 「下水道展'18北九州」の開催 (H30.7.24~27 西日本総合展示場)
- 国際会議の開催 (H30.7.25 国際会議場)
- 記念講演会の開催 (H30.7.23 国際会議場)

# 「下水道展'18北九州」を開催します! 平成30年7月24日(火)~27日(金)

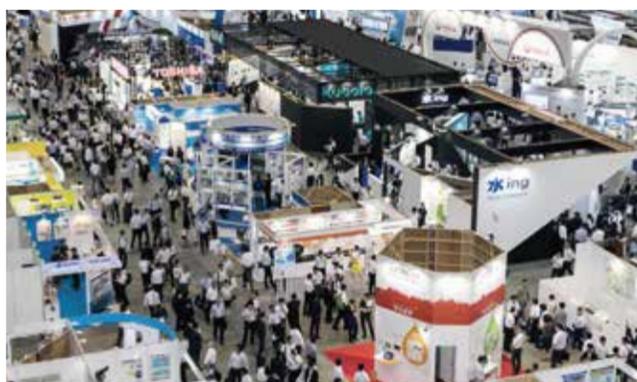
下水道展は、下水道の最新の技術や機器などを展示し、また市民の方々に下水道について理解していただく下水道界の一大イベントです。全国から多くの方が来場します。

**入場無料!**

下水道のしくみや役割、重要性について、分かりやすく学ぶことができるイベントをたくさん用意しています。

九州各県のご当地グルメを味わうことができるコーナーや屋外での体験コーナーなど、子どもから大人まで幅広く楽しんでいただけるイベントを予定しています。

開催場所：西日本総合展示場



「下水道展'17東京」の開催状況



「下水道展'17東京」でのイベント



## 北九州市のマンホールカード

デザイン性あふれるマンホール蓋をコレクションできる「マンホールカード」の人气が全国的に高まっています。

北九州市でも2種類のマンホールカードをお配りしていますので、ぜひゲットしてください!



マンホールカードは、日明浄化センター(ビジターセンター)を見学された方に配布しています。

日明浄化センターにあるビジターセンターは、屋外の水処理施設の見学と併せて、下水道について楽しく学べる体験型施設です。

### 【申込み方法等】

- (1) 見学を希望する日時の空き状況を電話で確認
- (2) 申込書に記入してFAXまたは郵送で予約申込  
※申込書は上下水道局ホームページからダウンロード可

### 受付日

平日 [土曜日・日曜日・祝日・年末年始は除く]

### 受付時間

9時~12時、13時~17時

電話番号 093-581-5670  
FAX番号 093-581-5680  
住所 北九州市小倉北区西港町96番地の3

▶見学申込み方法はこちら

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/s01300023.html>



2017年6月  
来場者数  
**1万人突破**

